美の里づくり審査会特別賞

観音寺天水木族（滋賀県栗東市）

～自然に愛された「天水の里　観音寺」ものがたり～

観音寺地区は、栗東市の最南端、阿星山のふもとにたたずむ14戸の集落であり、アクセスの利便性が悪く、地域資源である森林は、担い手不足や高齢化などにより荒廃し、空き家の発生、少子高齢化の進展による地域活力の低下が課題となっている。

こうした中、地域住民が知恵を出し合い、不便な生活環境の中でも、それに勝る快適で健康的な住環境の大切さを共有し、地域への誇りと愛着を高めることを目的に、地域住民有志による活動組織「観音寺天水木族」をつくり、魅力ある美しい地域づくりに取り組んでいる。

道路や田畑の畔を彩る水仙街道づくりを目指した「水仙街道プロジェクト」、美しい森林環境の保全に向けた「間伐材活用プロジェクト」、集落の趣きある佇まいをやさしく照らす「あかりの演出プロジェクト」、自然と調和した古民家の意義を広くＰＲし、将来に引き継いでいくための「古民家活用プロジェクト」などを実施し、地域内外での連携、交流を深めている。

また、「栗東市街道百年ファンクラブ」や「栗東芸術文化会館さきら」など多様な主体とのネットワークを活かし、「ヒカリトオトノセカイ」を開催するなど、都市部に暮らす住民との定期的な交流を企画・実践し始めている。

阿星山の麓に佇む観音寺集落

集落を優しく照らすあかり